



2007 / 2 / 1

津島市神明町 2

元神宮寺宝寿院

Tel 25・4154

FAX 25-4199

涅槃会 二月十五日

お釈迦様が 沢山の弟子達に看取られて
クシナガラクシナガラの沙羅の花が咲き乱れる中
静かに涅槃に入られた日です。川の流れも
一瞬止まってしまふ様な静寂が立ち込め
ていました。日が落ち夜の闇の中で涅槃に。
八十歳の生涯を閉じられました。

これより数日前、お釈迦様はチュンダか
ら干豚肉の供養を受けます。これを食して、
赤痢のような病気になることが、教典
にも血が走ったと書かれています。それで
も布教の旅を続けられ、クシナガラに至り
ます。とても寂しいところです。お釈迦様
は死を予告し、二本の沙羅の木の間に床を
取り、休まれます。其処に最期の弟子ブツ
クサが現れ、金色の布を布施します。布を
着けたお釈迦様は、金色に光り輝きました。
生涯で二度、成道された時と、涅槃の時に、
仏陀は二度金色となると、御自身でいわれ

ました。仏像を金色にするのは、この伝承
に由来します。涅槃とは、煩惱を吹き消す
ことだそうです。我執から離れて、解脱す
るとも云います。

文章にすると、一言ですが、なかなか難
しい事ですね。煩惱の塵に包れた人間にと
つて、お釈迦様は、とても尊い存在です。

宝寿院では 護摩の後で 涅槃会厳修

「涅槃寂靜」の涅槃像の前で 午前十一時

ホームページの問い合わせを

押して 書き込み申込みをします

メールが宝寿院と 申込みの方へ

送られて 予約が完了します。

都合の悪い時はこちらから又

メールを送ります。

とても簡単ですので、お試して下さい

お陰様で宝寿院ホームページから予約問い

合わせが増え、ご利用いただき感謝申し上

げます。このぼだい樹もホームページから

見たりプリントする事ができます。

但し 回線が繋がっている事が大切です。

<http://houjyuinn.net>
宝寿院ホームページ

宝寿院行事ご案内

毎月 一・八・十五日 十時 薬師護摩

二十四日十時お地藏様水子供養

二月十五日 十一時お釈迦様涅槃会

寒い時ですが 涅槃像の前で

法要しますのでお参り下さい。

家相 運勢相談 毎日 予約

0567・25・4154

ネットでお申込み下さい

節分の頃になりますと、宝寿院の庭では、
梅が一輪二輪とほころんできます。本年は
すこい暖冬で一月中旬に咲き始め 紅梅
白梅が暖かな冬を 演出しています。

ようこそ宝寿院ホームページへ

